

次長

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第1号

令和 6 年 5 月 14 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 妹尾 智 之 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

練馬区役所

大和市役所

3 内 容

封筒への音声コード印字について

不登校特例校

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

参加議員名簿

No.	ふりがな 名 前	会 派 名	備考
1	せのお ともゆき 妹尾 智之	公明党真庭市議団	
2			
3			
4			
5			

日にち：令和6年7月9日～10日

公明党真庭市議団 研修日程表

期 日	行 程
7月9日(火)	真庭市 →→→岡山空港発 (JAL234便) >>> 羽田空港着 == 練馬区役所 15:00～16:30 8:00 10:15 11:35 13:30 → 東横INN大和駅前 (宿泊) 18:30
7月10日(水)	東横INN大和駅前 → 大和市文化創造拠点シリウス見学 → 大和市役所 15:00～16:30 9:30 10:00 13:30 羽田空港発 (JAL241便) >>> 岡山空港着 →→→ 真庭市着 19:50 21:10 23:00

【 研修先 】

練馬区役所 東京都練馬区豊玉北6丁目12-1 TEL 03-3993-1111

大和市役所 神奈川県大和市下鶴見1丁目1-1 TEL 046-263-1111

【 宿 泊 】

東横INN大和駅前 神奈川県大和市中央4-1-20 TEL 046-265-1045

報 告 書

2024年 7 月 17 日

真庭市議会議長 小 田 康 文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 妹 尾 智 之 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2024年 7月 9日（午前・午後）15時00分 至 2024年 7月 10日（午前・午後）16時30分
2 場 所	練馬区役所 大和市立引地台中学校分教室 文化創造拠点シリウス
3 用 件	封筒への音声コード印字について 学びの多様化学校（不登校特例校）
4 概 要	・ 練馬区 区から発送する600万通を超える封筒に音声コードを印字 ～読めないハンディキャップをなくすために～ ・ 大和市 学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校） 不登校生徒へ新たな支援

報告書（継紙）

【 練馬区役所 】

区から発送する600万通を超える封筒に音声コードを印字

導入の経緯は、視覚障害者団体からの要望があった。

点字もあるが若い視覚障害者の方は、点字の読めない方が増えてきているため音声コードをお願いしたい。との事。

区は、2022年4月から、視覚や識字に障害のある方が区から届く書類を判別できるようするため、区が送付する600万通を超える封筒に音声コードを印字する。送付物の内容を音声やテキストデータで確認できる。

希望者には、住民税や国民健康保険、予防接種の案内などの重要な文書の封筒に点字シールを添付するほか、文書発送時にメールでお知らせするサービスで確認できる。

〈 事前質問 〉

1. コードを印字する封筒の基準を設けていますか。

区民を対象に送付する全ての封筒（年間で600万通超）に、音声コードを印字している。

個人宛に使用する汎用仕様の茶封筒には、「練馬区からのお知らせ」という音声をつけている。

区に返送するための返信封筒、銀行や他区市町への照会用封筒には付けない。

印字に使用する封筒は、音声コードを読み取りやすいよう、光沢のある封筒や凸凹のある封筒は避けるようにしている。

送付物以外では、区の発行する印刷物や、イベントのパンフレットなどに、音声コードを印字するようにしている。

2. コードに載せる情報、情報量の基準はありますか。

コードに載せる情報には、担当部署・何を送付しているか・問合せ先の電話

報告書（継紙）

番号を基本情報として入れている。期限等重要な情報がある場合は、掲載するようにしている。個人的な情報は入れず、中身の文章で対応する。

コードには、漢字を含めた活字文書で、1コードのサイズによって約40～1000文字の情報が入るが、区は標準の800字までを推奨している。

- ・XSサイズ（7mm角）約40字

- ・Sサイズ（13mm角）約400字

- ・Mサイズ（18mm角）約800字（標準サイズ）

- ・Lサイズ（20mm角）約1000字

3. 切り欠きを設けることについて経費的に増加することはありますか。

印刷部数によって異なる。令和3年度に行った調査では、切り欠き分の増額は、単価1.4円～18円程度であった。導入時の令和4年度は、音声コード未導入封筒に対する全体の値上がり額が約1,000万円程度。現在は、各所管で予算を計上している。

4. コードの利用、作成のためのライセンス料等は発生しますか。

特定非営利活動法人、日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）のアプリを利用して、Uni-Voice の音声コードを作成している。JAVISアプリの使用

については、自治体及び国・公益法人等は無償提供となるため、ライセンス料は発生しない。

練馬区では、情報システム担当の部署がライセンスの提供を受け、全職員が使用できるフォルダにて管理しており、ID不要で個々にインストール可能となっている。

5. コードを利用されている方の人数は把握可能でしょうか。

実際に音声コードを利用している方の人数は、把握できない。小さい文字が読みにくい高齢者、弱視を含む視覚に障害のある方、文字を認識できない識字障害のある方、日本語を母語としない外国人の方に活用できるものとして

報告書（継紙）

導入している。

視覚障害者を対象とした点字シール付き封筒をご利用されている方の人数は、登録制のため把握可能である。（現在 25名が登録）

6. 利用されている方の反応はどのようなものがありますか。

送付物すべてに音声コードがついているので、区からの送付物が分かって助かる。また、選挙のお知らせで、「音声コードのおかげで期日前投票のことが早めにわかって、すぐ来られて助かった」との声をいただいた。

7. 高齢、障がい等の理由によりアプリ操作に不安な方への支援策は。

区では、敬老館や図書館などの区立施設で高齢者・視覚障害者、聴覚障害者の方を対象としたスマートフォン体験会・相談会を継続的に開催し、使い方の支援を行っている。

8. スマートホン等を持たれていない方への配慮策を設けられていますか。

視覚障害のある方には、点字シール付き封筒の利用登録を案内し、点字により送付物の内容が分かるようにして情報提供を行っている。

区立施設の窓口では、区の送付物を読み上げてほしいという方に対し、読み上げを行う対応や、UDトークを利用した対応を行っているため、日本語を母語としない外国人も対応可能となっている。

9. 周知方法で特徴的なものがあれば御教示お願いいたします。

選挙のお知らせでは、音声コードによる情報提供に合わせて、点字シール付き封筒の利用登録について案内を行っている。点字シール付き封筒の利用登録者のうち希望する方には、事前に封書が届くメールでお知らせしている

報告書（継紙）

【 その他 】

① 点字シールはどのような情報をどのように添付されていますか。

「通知名」・「担当部」・「問合せ先」の3点を主に添付している。

それぞれ1行ずつ作成し、件名が長い場合は区切って作成する。

シールの左頭を揃えて添付する。

② 音声コードの利用以外に実施している情報保障施策について。

- ・点字シール付き封筒の送付
- ・点字資料の提供
- ・窓口への遠隔手話通訳の設置
- ・手話通訳派遣
- ・要約筆記派遣
- ・区報の音声版や点字版の発行
- ・ルビ振り資料の提供
- ・テキストデータの提供
- ・拡大文字資料の提供
- ・やさしい日本語の使用
- ・カラーユニバーサルデザインの活用
- ・窓口やイベント時におけるUDトークの活用
- ・区が作成する動画への手話通訳及び字幕の添付

【感想】

共生社会の実現を目指し、だれ一人取り残さない社会を現実に行っていると感じた。点字シール希望者数も人口75万人以上の中25名の希望者に対応している。様々な視点から弱者に寄り添った支援ができていると感じる。少数の意見でもあってもそれに応える行政運営が素晴らしいと思う。



ねり
丸

©2011練馬区ねり丸

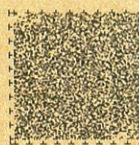
みどりの風吹くまち

★練馬区

〒176-8501

東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

TEL.03-3993-1111 (代表)



音声コード

仕事や用事で投票日に行けない方は、期日前投票を!

選挙に関する情報や期日前投票所のリアルタイムの混雑状況がご覧いただけます。

○区ホームページ (選挙に関する情報)
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/>

○期日前投票所のリアルタイムの混雑状況
<https://vacan.com/area/nerima-ku-polls/polling-place/12>

※スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってください





左のマークは音声コードです。
活字読み上げ機能をもった機器を使用することにより、目の不自由な方でも音声で聴くことができます。

期日前投票所	所在地	受付期間	受付時間
練馬区役所 本庁舎 1階	豊玉北6-12-1	4月17日(月) 4月22日(土)	午前8:30 午後8:00
石神井庁舎 5階	石神井町3-30-26		
光が丘区民センター 2階	光が丘2-9-6		
関区民センター 2階	関町北1-7-2		
勤労福祉会館 1階	東大泉5-40-36		
平和台体育館 2階	平和台2-12-5		
大泉学園町体育館 地下 1階	大泉学園町5-14-24		

※お身体の不自由な方のほかは、車での来所はご遠慮ください。



練馬区

福祉部管理課長
指導検査担当課長

きたざわ たけひろ

北 沢 武 宏



〒176-8501 東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話 03(5984)4576 (直通)

FAX 03(5984)1214

e-mail: THKIFUKUSHI01@city.nerima.tokyo.jp



練馬区



福祉部 管理課
ひと・まちづくり推進係長

たかしろ れい

高 城 令



〒176-8501 練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話 03(5984)1296

FAX 03(5984)1214

e-mail: THKIFUKUSHI08@city.nerima.tokyo.jp



練馬区 福祉部

管理課 ひと・まちづくり推進係

あいだ ま ゆ

會 田 真 優



〒176 8501 東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号

電話 03(5984)1296

FAX 03(5984)1214

e-mail: THKIFUKUSHI08@city.nerima.tokyo.jp

報告書（継紙）

【 大和市 引地台中学校分教室 】				
学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）				
大和市では、不登校の生徒の社会的自立を目指す「学びの多様化学校（不登校特例校）引地台中学校分教室」を開設し、同教室で一人一人の状況に合わせた支援をスタートさせました。				
「引地台中学校分教室」に所属する生徒は、在籍していた学校から同教室（引地台中学校）に転籍し、引地台中学校の生徒となります。分教室では、登校できない日であっても、自宅でオンライン学習や教育カウンセリング等を受けることができる体制となっている。				
同教室では、一人一人の状況に合わせた柔軟な学習計画のもと、生徒にとって無理のない学校生活を作り出し、社会的自立を目指している。				
入室生徒数（定員30人）				
	中 1	中 2	中 3	計
令和4年開設時	1名	5名	7名	13名
令和5年	8名	5名	9名	22名
令和6年	8名	8名	4名	20名
授業時間				
原則午前3単位、午後 1 ～ 2 単位（1単位50分）				
毎日30分のモジュール（30分×5日＝150分→3単位）				
教室				
1教室6人程度で1階2室、3階4（3）室の計6（5）室				
その他 1 階に職員室 生徒休養室 2 階に調理室と理科室				

〈 事前質問 〉

1. ①先生の考え方、指導観にどのような変化が生まれているか。

- ・ 現在も模索中。何が正解かわかっていない中の指導。
- ・ 開室時の取りまとめ（総括）は教育支援室・教育委員会歴任
- ・ 現在は「いい加減に 放っておく」

1 - ②上記の変化が生まれた要因はどこにありますか。（変化があれば）

- ・ よく言えば、まる投げのため、積極的に試行的な取組が行える環境（見切り発車的）
- ・ 常に子供のことを語り合える環境（余計な校務文章なし）少数精鋭？
- ・ 積極的な勉強会

2. 学校内でのベクトル合わせのために努力されていること、取り組まれていることの主なものを教えてください。

- ・ 積極的なコミュニケーション
- ・ 本校へは職員会議、校内研究推進委員会、学校内生徒担当社会・支援会への参加

3. 子ども、保護者にどのような変化が見られますか。

〈 こども 〉

- ・ 安心、居場所 → やってみよう

〈 親 〉

- ・ 親が楽しむ ・ 学校への敷居 ・ 不登校の不安 → どっしり構える

〈 子ども・親 〉

- ・ 家庭内のパワーバランスの好転

報告書（継紙）

4 - ①他の市内公立学校への考え方や取組みの普及に取り組まれていますか。

- ・ 登校支援センター的機能も大きな役割

4 - ②取り組まれているとしたら、どのようなことに取り組まれていますか。

- ・ 年3回、不登校対策連絡協議会を新設。そこからの情報発信（令和4年～）
- ・ 報告会の実施（他・自主的な勉強会の実施）
- ・ 必要に応じて講師として
- ・ 要望に応じて不登校ケースのアセスメント・コンサルテーション（助言）
- ・ 初任者研修（他校訪問）の受け入れ

【感想】

ここの、分教室の目標が、「10年後にこの分教室をなくすこと」と言われることにびっくりした。市内に広げることを普通は考えるが、そうではなく、不登校生徒をなくすことが分教室をなくすことになる。誰もそういったことは現状では考えていないと思う。教員配置を3年くらいで移動して、多くの教員にここでの考え方や取組みを知っていただき、現場に帰った時に生徒とのかかわり方に変化が生まれると思う。現場で不登校になりそうな生徒にいち早く気づき対話の中から不登校を減らしていけるのではないかと感じた。

分教室に来ていた生徒と少し話ができしたが、来たときは、だれとも会話ができない生徒であった。と聞いた。

初めてあった人でも会話ができるようになったとびっくりしている。

学びの多様化学校の現状を視察でき、今まで想像していたことと全く違っていた。勉強を教えているのかと思っていたが、生徒の自由にさせていること勉強はしなくてもよい。分教室に来ることが大切だと感じました。

次のステップへ頑張してほしいです。



教育部 青少年相談室

室長
服部 剛
HATTORI GO



大和市公式サイト

市民活動拠点ベテルギウス3F
242-0018 大和市深見西一丁目2番17号
Tel: 046-260-5036 Fax: 046-263-6955
E-mail: ky_souda@city.yamato.lg.jp



議会事務局
議事係

主査
八巻 祐太
Yuuta Yamaki



大和市公式サイト

大和市役所
242-8601 大和市下鶴間1-1-1
Tel: 046-260-5503 Fax: 046-262-2421
E-mail: gy_gikai@city.yamato.lg.jp



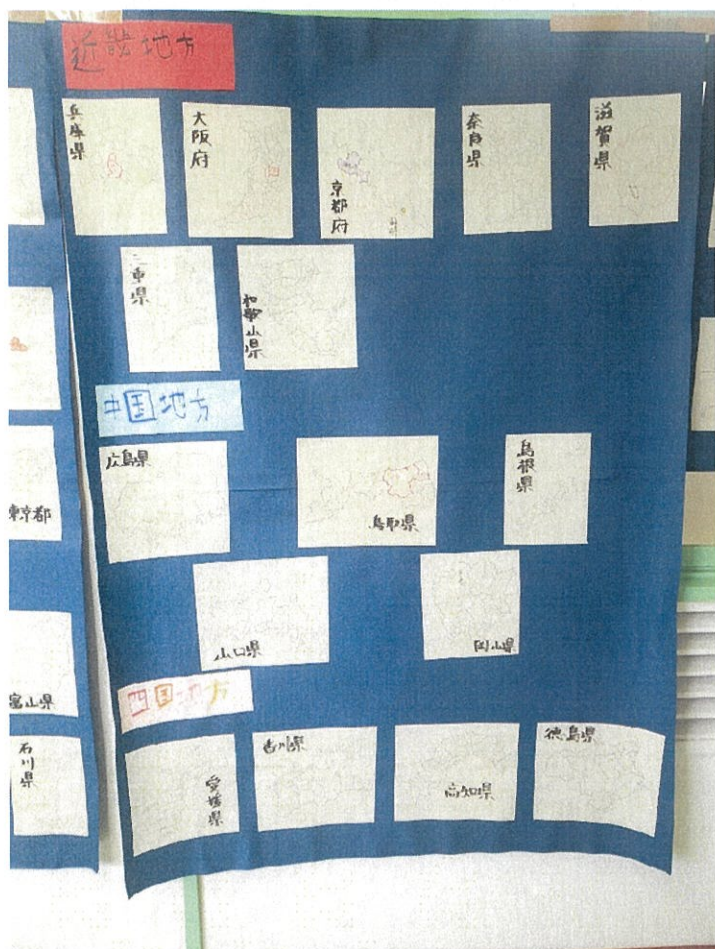
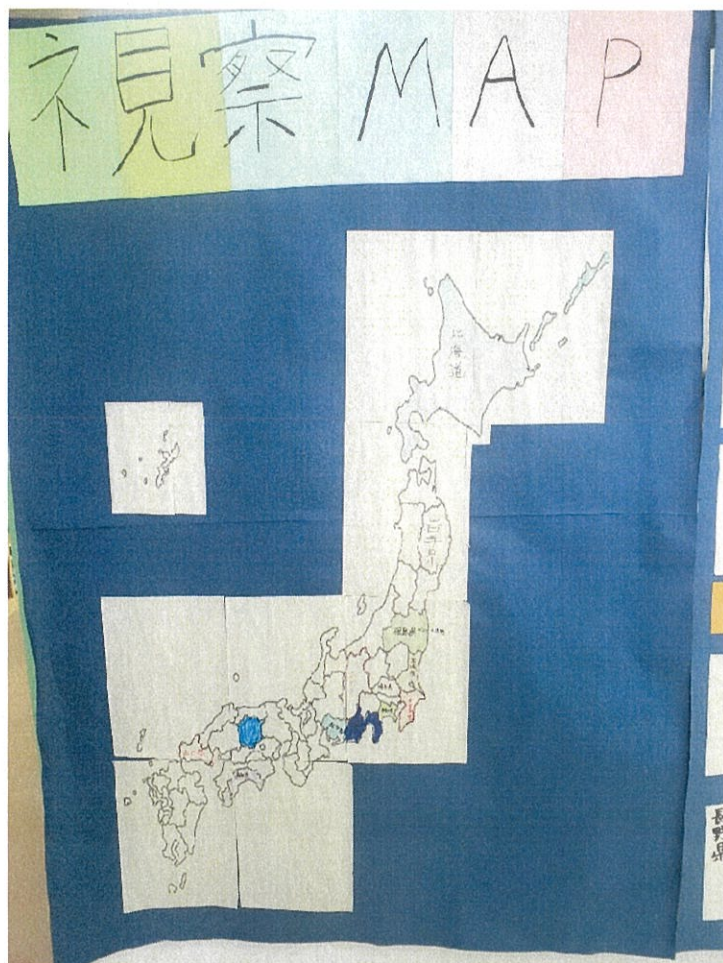
議会事務局
議事係

主事
高石 愛里
Airi Takaishi



大和市公式サイト

大和市役所
242-8601 大和市下鶴間1-1-1
Tel: 046-260-5503 Fax: 046-262-2421
E-mail: gy_gikai@city.yamato.lg.jp







報告書（継紙）

文化創造拠点シリウス（見学）
「心に響く・心が躍る・心をつなぐ」
1 階、感動が生まれる感性と創造の場
2 階、楽しく語り集う市民交流のフロア
3 階、思い切り遊んで学ぶ大和こどもの国
ちびっこ広場・こども読書室・おはなしのへや
げんきっこ広場・保育室・スタジオ（大）
4 階、くつろぎながら本に楽しむ健康都市図書館
健康コーナー/健康テラス
5 階、調べて学ぶ図書館
地域資料コーナー
6 階、仲間と集い学ぶ生涯学習センター
調理実習室・文化創造室・講習室
1 階～6 階までそれぞれコンセプトを備えた特色のある図書館である。
平日の午前中からでも多くの市民の方々が利用されている。
平成28年11月3日のオープンから1,175日目を迎えた令和2年1月21日に、累計来館者数が1000万人を突破されたそうです。
有料の市民交流ラウンジ（1時間100円、最長6時間600円入場券購入）
平日は空きがあるが、土・日・祝は満席で空席待ちで行列ができています。
各フロアに自動図書貸出機があり、その横には、図書除菌機が設置されています。これは、コロナ以前、オープン時から設置されているようです。
ちびっこ広場・げんきっこ広場は、土・日は多くの子供さんであふれているそうです。ベビーカーの渋滞が起きていると言われています。
1階には、コーヒー店・コンビニ・FMスタジオがあります。
市民の憩いの場としても十分に活用されている図書館である。

文化創造拠点 シリウス



